

辛抱強い人になりましょう

「辛抱強さを身に着けましょう」。[コロサイ 3:12](#)

114 番の歌 辛抱強さを示しましょう

何を学ぶか*サタンが支配する世の中では、辛抱できない人が多くなっています。でも、聖書は辛抱強さを身に着けるようにと勧めています。この記事では、辛抱強さが大切なのはどうしてか、どうすればもっと辛抱強い人になれるかを考えます。

1. 辛抱強い人と一緒にいると安心できるのはどうしてですか。

私たちは誰でも、辛抱強い人と一緒にいると安心できます。いらいらすることなく待つことができる人は魅力的です。何か間違いをしてしまった時に辛抱強く接してくれるなら、ほっとします。聖書レッスンを受けていた頃、聖書の教えを理解したり受け入れたり当てはめたりするのを難しく感じていたかもしれません。でも、聖書を教えてくれた人が辛抱してくれたことをありがたく思っていることでしょう。そして何よりも、エホバが私たちのことを辛抱してくれていることに感謝しているのではないでしょうか。（[ロマ 2:4](#) それともあなたは、神がご親切にも悔い改めに導こうとしてくださっていることを知らず、神の豊かな親切と寛容と辛抱を軽く見ているのですか）

2. どんなときに辛抱するのが難しいことがありますか。

2 でも、自分が辛抱を示すとなると難しく感じることがあります。例えば、急いでいる時に渋滞に巻き込まれると、いらいらするかもしれません。ほかの人から気に障ることをされて、かっとなってしまうこともあるでしょう。エホバが約束している新しい世界が来るのを待つのが難しいと感じるかもしれません。もっと辛抱強い人になれたらいいのに、と思うことがありますか。この記事では、①辛抱強さとは何か、②なぜそれが大切かを考えます。そして、③もっと辛抱強い人になるために何ができるかも学びます。

辛抱強い人とは

3. 気に障ることをされたとき、辛抱強い人はどう反応しますか。

3 辛抱強い人の特徴を4つ考えてみましょう。1つ目に、辛抱強い人はすぐに怒りません。気に障ることをされたときにも、仕返しするのではなく、穏やかでいるようにします。ストレスを感じるときにも、ほかの人に厳しく接したりはしません。エホバはまさにそのような方です。聖書の中で、「すぐに怒らず」という表現が最初に出てくるのは、エホバについて説明した次の聖句です。「憐れみ深く、思いやりがある神、すぐに怒らず、搖るぎない愛に満ち、常に信頼できる」

。 (出 34:6) エホバはモーセの前を通り過ぎつつ、こう宣言した。「エホバ、エホバ、憐れみ深く、思いやり(*慈しみ)がある神、すぐに怒らず、揺るぎない愛(*愛ある親切)に満ち、常に信頼できる(*真実を語る)」

4. 待つ必要があるとき、辛抱強い人はどう反応しますか。

4 辛抱強い人は穏やかに待つことができる。辛抱強い人は、自分が思った以上に時間がかかる場合でも、いらいらしたりせかしたりはしません。 (マタ 18:26, 27) 奴隸はひれ伏して敬意を表し、『もうしばらくご辛抱ください。全部お返しますから』と言いました。27 主人は、かわいそうに思い、奴隸を許して負債を取り消してあげました) 私たちはいろんな場面で穏やかに待つ必要があります。例えば、誰かが話している時、話を遮ることなく聞くことは大切です。 (ヨブ 36:2) もうしばらく私の説明を辛抱して聞いてください。神のために話したい言葉がまだあります) また、聖書を学んでいる人が聖書の教えを理解したり悪い習慣を克服したりできるように助ける際にも、辛抱強さが必要です。

5. ほかにもどんな方法で辛抱強さを示せますか。

5 辛抱強い人は慌てて行動しない。確かに、急いで行動しなければいけない場面もあります。でも辛抱強い人は、重要なことを行うときに、慌てて取り掛かったり急いで片付けたりはしません。まずはきちんと計画を立てます。そうするなら、やるべきことを行うために十分時間を取りることができます。

6. 大変な状況を経験するとき、辛抱強い人はどのように反応しますか。

6 辛抱強い人は、ネガティブなことばかり言わずに試練を忍耐しようとする。辛抱と忍耐には深い関わりがあります。もちろん、親しい友達に自分の気持ちを話すのは間違ったことではありません。でも、辛抱強い人は試練を忍耐するときにも前向きでいるように努力します。 (コロ 1:11 そして、神の偉大な力によって十分に強くなり、あらゆることを忍耐し、辛抱しつつ喜べますように) クリストチャンである私たちは、こうした4つの点全てを意識する必要があります。その理由について考えてみましょう。

辛抱強さが大切なのはどうしてか



農家の人は、収穫の時が来ることを信じて辛抱強く待つ。私たちも、エホバが約束を予定通りに果たしてくださることを信じて辛抱強く待つことができる。 (7節を参照。)

7. ヤコブ 5章 7, 8節によると、辛抱強さが大切なのはどうしてですか。（挿絵も参照。）

7 辛抱強さは私たちにとって欠かせません。救いと関係があるからです。これまでエホバに忠実に仕えた人たちと同じように、私たちもエホバが約束を果たされるまで辛抱強く待つ必要があります。（ヘブ 6:11, 12 私たちは、皆さん一人一人が同じ勤勉さを示し続けて、希望に対する搖るぎない確信を最後まで保ってほしいと思っています。12 怠けたりせず、信仰と辛抱のゆえに約束のものを受けた人たちに倣ってほしいのです）聖書は私たちを農家の人に例えています。（ヤコブ 5:7, 8 兄弟たち、主の臨在（用語集：ギリシャ語聖書の中で、イエス・キリストが王として在位していることを指して使われる言葉。キリストの臨在は、メシアである王として目に見えない状態で即位した時から、この体制の終わりの時代の間続く。到来してすぐに去るようなものではなく、一定の期間に及ぶ。）マタ 24:3）の時まで辛抱してください。農家の人は大地の貴重な実りを待ち続け、秋の雨と春の雨が降るまで辛抱します。8 皆さんも辛抱し、心を強くしてください。主の臨在（←）が近づいたからですを読む。）農家の人は一生懸命種をまき、水をやります。でも、それがいつ芽を出すのか、正確な時は知りません。必ず収穫の時が来る信じて、辛抱強く待ちます。同じように、私たちも「主がどの日に来るかを知」りませんが、クリスチヤンとしての活動を忙しく行います。（マタ 24:42 それで、ずっと見張っていなさい。主がどの日に来るかを知らないからです）エホバはご自分の約束全てを予定通りに果たしてください。そのことを信じて辛抱強く待ちましょう。もし辛抱できなくなるなら、待つことに疲れ、エホバから少しずつ離れていくかもしれません。すぐに手に入る喜びや楽しみを追い求めるようになることもあります。でも、辛抱強く待ち続けるなら、最後まで忍耐し、救いを経験することができます。（ミカ 7:7 しかし私はエホバに目を向け続ける。私の救いの神を辛抱強く待つ。私の神は聞いてくださる。マタ 24:13 しかし、終わりまで耐え忍んだ人が救われます）

8. 人と良い関係を保つ上で、辛抱強さが大切なのはどうしてですか。（コロサイ 3:12, 13）

8 人と良い関係を保つ上で辛抱強さは大切です。辛抱強い人はほかの人の話をよく聞きます。（ヤコ 1:19 私の愛する兄弟たち、覚えておいてください。皆が、人の言うことに進んで耳を傾けるべきです。すぐに話したり、すぐに怒ったりしてはなりません）また、平和な雰囲気をつくり出すこともできます。過敏に反応したり、ストレスを感じている時に不親切なことを言ったりしないようにします。辛抱強い人は、誰から傷つけられてもすぐに怒ったり仕返したりはしません。「引き続き互いに我慢し、寛大に許し合います。（コロサイ 3:12, 13 それで、皆さんは神に選ばれ、神に愛される聖なる人たちですから、温かい思いやり、親切、謙遜さ（*自分を低く見る考え方）、温和、辛抱強さを身に着けましょう。13 引き続き互いに我慢し、寛大に許し合いましょう。たとえ誰かに不満を感じるとしてもです。エホバ（*）が寛大に許してくださったのですから、同じようにしなければなりませんを読む。）

9. 何かを決めるとき、辛抱強くあることはどうして大切ですか。（格言 21:5）

9 辛抱強さは、良い決定をするのに助けになります。せっかちになつたり衝動的に決めたりするのではなく、時間を取って調査し、選択肢をよく考えましょう。（格言 21:5 勤勉な人の計画は必ず成功（*良いこと）につながり、せっかちな人は必ず貧乏へと向かうを読む。）仕事を探している場合、集会や奉仕の予定と重なるものであっても、とにかく決めてしまいたいと思うかもしれません。でも辛

抱強い人は、通勤時間や勤務時間、家族やクリスチヤンとしての活動への影響などをじっくり考えます。確かに、辛抱強さは良くない決定を避ける助けになります。

どうすればもっと辛抱強い人になれるか

10. もっと辛抱強い人になるためにどんなことができますか。

10 **祈る。** 辛抱強さは聖なる力が生み出すものの1つです。 (ガラ 5:22, 23 一方、聖なる力(用語集:神がご自分の望むことを成し遂げるために送り出す、目に見えない力。一般的に「聖霊」と呼ばれることが多い。聖なる力といえるのは、最高度に清く正しい方であるエホバを源とする力であり、エホバが聖なる事柄を成し遂げるために用いるからである)が生み出すもの(d*実)は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信仰、23 温和、自制です。このようなものを否定する律法はありません) それで、辛抱強さを身に着けられるよう、聖なる力を求めてエホバに祈ることは大切です。辛抱強さが必要となる状況に直面したなら、聖なる力を「求め続け」ましょう。 (ルカ 11:9 それで、求め続けなさい。そうすれば与えられます。探し続けなさい。そうすれば見つかります。たたき続けなさい。そうすれば開かれます、13 それで、あなたたちが罪深い人間でありながら、子供に良い贈り物を与えることを心得ているのであれば、まして天の父は、ご自分に求めている人に聖なる力を与えてくださるのです) エホバと同じように物事を見ることができるよう祈ることも大切です。祈ったなら、自分でもできる限りのことをしていきましょう。祈って努力すればするほど、もっと辛抱強い人になれるようエホバが助けてくださいます。

11-12. エホバはどのように辛抱強さを示してきましたか。

11 **聖書中の例をじっくり考える。** 聖書には、辛抱強さを示した人たちの例がたくさん載せられています。こうした記録についてじっくり考えると、辛抱強さをどのように示したらよいかを学ぶことができます。まず、最も辛抱強い方であるエホバの手本について考えてみましょう。

12 エデンの園で、サタンはエホバの名前を傷つけました。エホバが公正で愛情深い統治を行うことに疑問を差し挟んだのです。でもエホバは、サタンをすぐに滅ぼすことはしませんでした。ご自分の統治が一番良いものであることを証明するには時間がかかることを知っていたので、辛抱と自制を示しました。そして、悪く言われるのをこれまでずっと忍耐してきました。さらに、もっと多くの人が永遠の命を得られるようにも辛抱してきました。 (ペテニ 3:9 エホバ(*)は約束を果すのが遅いと考える人もいますが、そうではありません。神は、一人も滅ぼされることなく、全ての人が悔い改めることを望んでいるので、皆さんを辛抱しているのです、15 また、私たちの主の辛抱を救いと考えてください。私たちの愛する兄弟パウロも、自分に与えられた知恵に沿って、皆さんにそう書き送りました) そのおかげで何百万人もの人がエホバを知るようになっています。エホバの辛抱によってどんな良い結果が見られているかを考えると、エホバが悪を終わらせる時まで喜んで待つことができるでしょう。



辛抱強さがあるなら、ひどいことを言われてもすぐに怒ることはない。 (13節参照)

13. イエスはエホバの辛抱強さにどのように見習いましたか。 (写真も参照。)

13 イエスは地上にいた時、エホバに見習って辛抱強さを示しました。そうするのが難しいこともありました。イエスが接した相手の中には、律法学者やパリサイ派など、偽善的な人たちもいたからです。 (ヨハ 8:25-27 ユダヤ人たちは、「あなたは誰なのでしょうか」と言いだした。イエスは答えた。「一体、私は何のためにあなた方に話しているのでしょうか。26 私には、あなた方について話すべきこと、また裁くべきことがたくさんあります。私は、真実を語る方から世に遣わされ、その方から聞いたことを話しているのです」。27 ユダヤ人たちは、イエスが父について話しているということを理解できなかった) でも、イエスはエホバを見習って、すぐに怒ったりはしませんでした。侮辱的な言葉に言い返したり、挑発に乗ったりすることもありませんでした。 (ペテー 2:23 侮辱され(*ののしられ)ても、仕返しをしたりしませんでした。苦しめられても、相手を脅したりせず、正しく裁く方に自分を委ねました) イエスはいろいろな試練を経験しましたが、文句を言うことなく忍耐しました。それで聖書は、敵対的な言葉を言われてもじっと耐えたイエスのことをよく考えるように、と勧めています。 (ヘブ 12:2, 3 私たちの信仰を導き、完全にしてくださる方であるイエスを一心に見つめながら走るのです。イエスは、前途にある喜びのために、恥を物ともせず苦しみの杭(用語集: 真っすぐに立てられた杭または棒を意味する、ギリシャ語スタウロスの訳。イエスは処刑された時それに掛けられた。このギリシャ語が十字架を意味するという証拠はない。十字架は、キリストが到来する何世紀も前から異教で宗教的象徴として使われていた。スタウロスという語は、イエスの弟子たちが痛めつけられ、苦しめられ、辱められることも示唆しているので、「苦しみの杭」は原語の意味を十分に伝える表現である)に耐え、神の座の右に座りました。3 罪人たちは自分に害を招く敵対的な言葉を語り、イエスはそれを忍耐しました。そのイエスのことをよく考えてください。そうすれば、疲れて諦めてしまうことはないでしょう) 私たちも、エホバに助けていただくなれば、どんな試練があっても忍耐することができます。



アブラハムのように辛抱するなら、エホバは今だけでなく、新しい世界でさらに大きな祝福を与えてくださる。 (14節参照)

14. アブラハムの辛抱強さから何が学べますか。 (ヘブライ 6:15) (写真と挿絵も参照。)

14 思っていたより終わりが来るのが遅いとか、自分が生きている間に終わりを見ることはできないかもしれない、と考えることがありますか。辛抱強く待ち続けるのに何が助けになるでしょうか。アブラハムの例を考えてみましょう。アブラハムが75歳でまだ子供がいなかった時、エホバは「私は、あなたから偉大な国民が生まれるように[する]」と約束しました。 (創 12:1-4 エホバはアラムに言った。「あなたが住んでいる土地を出て、あなたの親族と父の家族から離れ、私が示す土地に行きなさい。」)

い。2私は、あなたから偉大な国民が生まれるようにし、あなたを祝福し、あなたの名を偉大なものにしよう。あなたを通して人々は祝福を受ける。3私は、あなたに祝福があることを願い求める人たちを祝福し、あなたに不幸があることを願い求める人に災いをもたらす。あなたによって地上の家族全てが必ず祝福を受ける(*獲得する)」。4アブラムはエホバに言われた通りに旅立った。ロトも一緒だった。アブラムは、75歳の時にハランを出た)アブラハムはこの言葉が実現するのを見たでしょうか。一部は見ることができました。ユーフラテス川を渡ってから25年後に息子イサクが生まれ、その60年後に孫のエサウとヤコブが生まれました。

([ヘブライ 6:15](#)アブラハムは辛抱した後、そのように約束されましたを読む。)アブラハムは、自分の子孫が偉大な国民となって約束の地を受け継ぐのを見ることはありませんでした。とはいえ、アブラハムはエホバとの強い友情を築くことができました。 ([ヤコ 2:23](#)「アブラハムはエホバ(*)に信仰を持ち、そのことは正しいと見なされた」という聖句の通りになり、アブラハムはエホバ(*)の友と呼ばれるようになったのです)そして復活してきた時には、自分の示した信仰と辛抱強さが全ての人の祝福につながったことを知って、どんなにか喜ぶことでしょう。 ([創 22:18](#)あなたの子孫(d*種)によって地上の全ての国民が祝福を受ける(*獲得する)。あなたが私の言ったことに従ったからである)何が学べますか。私たちもエホバの約束全てが実現するのを今すぐに見ることはできないかもしれません。でも、アブラハムのように辛抱するなら、エホバは今だけでなく、新しい世界でさらに大きな祝福を与えてくださいます ([マル 10:29-30](#)イエスは言った。「はつきり言いますが、私のため、また良い知らせのために、家、兄弟、姉妹、母親、父親、子供、あるいは畑に別れを告げた人は皆、30今この時期に(*現在)百倍を、家、兄弟、姉妹、母親、子供、畑を迫害と共に得て、新しい体制で永遠の命を得ます)

15.個人研究でどんなことを考えることができますか。

15聖書には、辛抱を示した人たちの記録がたくさん収められています。 ([ヤコ 5:10](#)兄弟たち、苦しみに耐え、辛抱する点で、エホバ(*)の名によって語った預言者たちを模範としてください) そうした人たちの手本について調べてみるのはどうですか。 *辛抱強さについての聖書の記録を見つけるために、「ものみの塔出版物索引」の「辛抱」の見出しを調べることもできます(エホバを待つ:集ワ 22.03 12-13、結婚生活で:イ家 記事8、聖書中の模範 エホバ:集ワ 22.22 10、長老:塔研 22.02 18) 例えばダビデは、とても若い時に王として選ばれましたが、実際に統治を始めることができたのは何年も後になってからでした。シメオンとアンナは、メシアが来るのを待ちつつエホバに忠実に仕えました。 ([ルカ 2:25](#)さて、エルサレムにシメオンという男性がいた。神を畏れる正しい人で、イスラエルが慰めを受ける時を待っており、聖なる力に導かれていた。[36-38](#)さて、アシェル族の人で、パヌエルの娘であるアンナという女預言者がいた。この女性はかなり年を取っていた。結婚して7年間夫と暮らしたが、[37](#)今はやもめで84歳だった。いつも神殿に来て、昼も夜も神聖な奉仕をし、断食と祈願をしていた。[38](#)アンナはちょうどこの時に近くに来て、神に感謝し始め、エルサレムの救出を待つ人全てにその子のことを語りだした) こうした記録を調べるときには、次のような点を考えてみましょう。「①この人が辛抱できたのはどうしてだろうか。②辛抱してどんな良い結果になっただろうか。③どのように倣えるだろうか」。辛抱できなかつた人たちの例からも学ぶことができます。 ([サム一 13:8-14](#)サウルはサムエルが決めた所定の時まで7日間待ったが、サムエルはギルガルに来なかつた。民はサウルのもとから去り始めていた。[9](#)ついにサウルは、「全焼の犠牲と共に食の犠牲を私の所に持ってきてなさい」と言った。そして全焼の犠牲を捧げた。[10](#)サウルが全焼の犠牲を捧げ終えると、間もなくサムエルがやって來た。サウルは迎えに出ていき、あいさつした。[11](#)するとサムエルは言った。「いったい何をしたのですか」。サウルは言った。「民が私のもとから離れ始めました。それに、あなたは所定の時までに来てくださいませんで

したし、フィリスティア人がミクマシュに集結していました。12 それでこう思いました。『今フィリスティア人がギルガルの私の所に向かってくるのに、私はエホバの恵みを求めていない』。私は全焼の犠牲を捧げなければならぬないと感じたのです」。13 サムエルはサウルに言った。「あなたは愚かなことをしました。エホバ神から与えられたおきてを守りませんでした。もし守っていたら、エホバは、イスラエルを治めるあなたの王国がいつまでも続くようになります。14 しかしもう、あなたの王国は長続きしません。エホバはご自分の心にかなう人を見つけます。エホバはその人を、ご自分の民の指導者に任命します。あなたはエホバに命じられたことを守らなかつたからです」) こう考えてみましょう。「①この人が辛抱できなかつたのはどうしてだろうか。②どんな悪い結果になつただろうか」。

16. 辛抱強くあるなら、どんな良い結果になりますか。

16 **どんな良い結果になるかを考える。** 辛抱強くあるなら、もっと幸せで穏やかな気持ちになれます。心身共に健康でいられます。他の人に辛抱強く接するなら、より良い関係を築くことができます。会衆の絆はもっと強くなります。誰かに傷つけられたとしてもすぐに怒らないようにするなら、問題を悪化させずに済みます。(詩 37:8 怒るのをやめ、激怒を捨てよ。腹を立てて悪を行つてはならない(if*腹を立ててはならない。害をもたらすだけだ), 脚注。格 14:29 すぐに怒らない人は優れた識別力があり、短気な人は愚かさをあらわにしている) そして何よりも大切な点として、天のお父さんエホバに倣うことができ、エホバとの絆を強めることができます。

17. どんなことを努力したいと思いますか。

17 辛抱強さは素晴らしい性質です。辛抱強くあるなら、自分にとっても周りの人にとっても良い結果になります。いつも示すのは簡単ではないかもしれません、エホバが助けてくれます。新しい世界を待つ間、次のように述べた詩編作者と同じ確信を持つことができます。「エホバの目は神を畏れる人に向けられている。神から揺るぎない愛を示されるのを待つ人に」。(詩 33:18 エホバの目は神を畏れる人に向けられている。神から揺るぎない愛を示されるのを待つ人に) 辛抱強い人になることを目指して、これからも努力し続けていきましょう。

どのように答えますか

1. 辛抱強い人とはどんな人ですか。

- S03 辛抱強い人はすぐに怒らない。気に障ることをされても、仕返しせず、穏やかでいるようになる。ストレスを感じる時にも、他の人に厳しく接したりせず。エホバはまさにそのような方
- S04 辛抱強い人は穏やかに待つことができる。それで、話を遮ることなく聞いたり、聖書を学んでいる人が聖書の教えを理解したり悪い習慣を克服したりできるように助ける際にも必要
- S05 辛抱強い人は慌てて行動しない。慌てて取り掛かつたり急いで片付けたりせず、きちんと計画を立てるなら、やるべきことを行うために十分時間を取れる
- S06 辛抱強い人は、ネガティブなことばかり言わずに試練を忍耐しようとする。辛抱強い人は試練を忍耐するときにも前向きでいるように努力する

2. 辛抱強さが大切なのはどうしてですか。

- ・S07 辛抱強さは救いと関係があるので、私たちにとって欠かせない。エホバの約束を辛抱強く待ち続けるなら、最後まで忍耐し、救いを経験できる
- ・S08 辛抱強さは、人と良い関係を保つ上で大切。辛抱強い人は、ほかの人の話をよく聞き、過敏に反応せず、不親切なことを言わず、すぐに怒ったり仕返ししたりはしない。それで平和な雰囲気をつくり出すことができる
- ・S09 辛抱強さは、せっかちになつたり衝動的に決めたりするのではなく、時間を持って調査し、選択肢をよく考えるので、良い決定をしたり良くない決定を避ける助けになる。

3. どうすればもっと辛抱強い人になれますか。

- ・S10 祈る。辛抱強さは聖なる力が生み出すものの1つなので、辛抱強さを身に着けられるよう、聖なる力を求めてエホバに祈ることは大切。辛抱強さが必要となる状況に直面したなら、聖なる力を求め続ける。エホバと同じように物事を見る能够性をもつて祈ることも大切です。祈ったなら、自分でもできる限りのことをしていく。祈って努力すればするほど、もっと辛抱強い人になれるようエホバが助けてくださる
- ・S11 聖書中の例をじっくり考える。聖書には、辛抱強さを示した人たちの例がたくさん載せられており、その記録についてじっくり考えると、辛抱強さをどのように示したらよいかを学ぶことができる。最も辛抱強い方であるエホバの手本について考える
- ・S13 イエスは地上にいた時、イエスが接した相手の中には、律法学者やパリサイ派など、偽善的な人たちもいたので、簡単ではなかったが、エホバに見習って辛抱強さを示された。私たちも、エホバに助けていただくなれば、どんな試練があっても忍耐することができる
- ・S14 アブラハムが75歳でまだ子供がいなかった時、エホバは「私は、あなたから偉大な国民が生まれるように[する]」と約束。ユーフラテス川を渡ってから25年後に息子イサクが生まれ、その後60年後に孫のエサウとヤコブが生まれたものの、アブラハムは、自分の子孫が偉大な国民となって約束の地を受け継ぐのを見ることはなかった。しかし復活してきた時には、自分の示した信仰と辛抱強さが全ての人の祝福につながったことを知って、どんなにか喜ぶことか。私たちもエホバの約束全てが実現するのを今すぐに見ることはできなくても、アブラハムのように辛抱するなら、エホバは今だけでなく、新しい世界でさらに大きな祝福を与えてくださる
- ・S15 聖書には、辛抱を示した人たちの記録がたくさん収められているので、こうした記録を調べるときに、次のような点を考えてみる。①この人が辛抱できたのはどうしてだろうか。②辛抱してどんな良い結果になつただろうか。③どのように倣えるだろうか、と考える。また辛抱できなかつた人たちの例からも、①この人が辛抱できなかつたのはどうしてか。②どんな悪い結果になつたか、と考えてみる。

41番の歌 どうか私の祈りを聞いてください